

# ITEC Symposium

## 自動車の次世代技術：その社会的便益と普及のための政策

日時：2016年3月11日（金）13:00～17:30

場所：同志社大学 今出川校地 寒梅館2階 211号室

PHEV、燃料電池車、そして自動走行車といった次世代の車は、大気汚染の緩和や交通事故の削減にどの程度の寄与するのか？ また、それらを社会に普及させていくためにはこういった政策が求められるのか？ このシンポジウムは、この2つの問いかけに対する研究成果を社会に還元し議論することを目的に実施するものです。第1部では、経済モデルや大気化学物質輸送モデルを用いた世界の大気汚染シミュレーションの結果と自動運転に関する理論・実証研究の成果を発表します。第2部では、内外から有識者をパネリストとして招聘し、普及のための今後の政策のあり方などについて議論します。

### プログラム

#### ■セッション1 プレゼンテーション（13:00～15:30）

- 2050年までの世界の地域別・排出源別の大気汚染物質排出シナリオ  
竹下 貴之（長崎大学）
- 次世代車の普及と大気汚染の緩和  
Olivier Dessens（英国UCL\*1）
- 交通分野の低炭素化と他分野の政策との相互作用：中国のケース  
Annala Anger-Kraavi（英国UEA\*2）
- 完全自動運転車両普及のためのコスト及び空間条件  
紀伊 雅敦（香川大学）
- 自動運転車両普及に向けて求められる政策  
三好 博昭（同志社大学）

\*1 University College of London, \*2 University of East Anglia

#### ■セッション2 パネル・ディスカッション（15:50～17:20）

座長：David Cope（ケンブリッジ大学クレアホール校）

パネリスト：内村 孝彦（ITS Japan）、孫 林（上海社会科学院）、花岡 達也（国立環境研）

セッション1の登壇者

司会 佐野 雅之（株式会社リベルタス・テラ）



竹下 貴之



Olivier Dessens



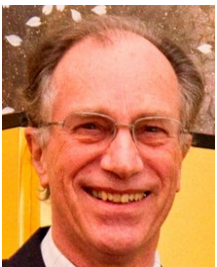
Annala Anger-Kraavi



紀伊 雅敦



三好 博昭



David Cope



内村 孝彦



孫 林



花岡 達也



佐野 雅之

日英同時  
通訳付き

事前の参加登録が必要です。

申込み先：

<http://goo.gl/forms/Si50ywhlSE>

または [itec@doshisha-u.jp](mailto:itec@doshisha-u.jp) まで  
Eメールで申込み下さい。

\*本事業は、JSPS科研費25281071の助成を受けたものです。

**ITEC**  
Institute for Technology,  
Enterprise and Competitiveness

主催：同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC) 共催：同志社大学モビリティ研究センター  
協賛：特定非営利活動法人 ITS Japan、公益社団法人 自動車技術会